

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

<b>事業名</b> 一般国道3号 <small>おかがき</small> 岡垣バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 九州地方整備局														
<b>起終点</b> 自：福岡県 <small>おんが</small> 遠賀郡 <small>おかがき</small> 岡垣町山田 至：福岡県 <small>むなかた</small> 宗像市 <small>たけまる</small> 武丸	<b>延長</b> 4.0km															
<b>事業概要</b> 岡垣バイパスは国道3号の2車線区間を4車線化することにより、交通ボトルネックを解消し、信頼性の高い物流ネットワークの構築、交通安全性の向上等を目的とした事業である。																
H30年度事業化	H49年度都市計画決定 (H一年度変更)	H一年度用地着手 H30年度工事着手														
<b>全体事業費</b> 約87億円	<b>事業進捗率</b> 約45% <small>(令和3年3月末時点)</small>	<b>供用済延長</b> 0.0km														
<b>計画交通量</b> 41,900～43,900台/日																
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;"> <b>B/C</b>  <small>(事業全体)</small> </td> <td style="width: 15%; text-align: center;"> <b>総費用</b>  <small>(残事業)/                      (事業全体)</small> </td> <td style="width: 15%; text-align: center;"> <b>総便益</b>  <small>(残事業)/                      (事業全体)</small> </td> <td style="width: 15%; text-align: center;"> <b>基準年</b>                      令和3年                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">                     1.4  <small>(残事業)</small> </td> <td style="text-align: center;">                     42/89億円                      事業費：32/79億円                      維持管理費：9.7/9.7億円                 </td> <td style="text-align: center;">                     124/124億円                      走行時間短縮便益：95/95億円                      走行経費減少便益：21/21億円                      交通事故減少便益：8.2/8.2億円                 </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">                     3.0                 </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<b>B/C</b> <small>(事業全体)</small>	<b>総費用</b> <small>(残事業)/                      (事業全体)</small>	<b>総便益</b> <small>(残事業)/                      (事業全体)</small>	<b>基準年</b> 令和3年	1.4 <small>(残事業)</small>	42/89億円 事業費：32/79億円 維持管理費：9.7/9.7億円	124/124億円 走行時間短縮便益：95/95億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：8.2/8.2億円		3.0				総費用 <small>(残事業)/                  (事業全体)</small> 42/89億円 事業費：32/79億円 維持管理費：9.7/9.7億円	総便益 <small>(残事業)/                  (事業全体)</small> 124/124億円 走行時間短縮便益：95/95億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：8.2/8.2億円	基準年 令和3年
<b>B/C</b> <small>(事業全体)</small>	<b>総費用</b> <small>(残事業)/                      (事業全体)</small>	<b>総便益</b> <small>(残事業)/                      (事業全体)</small>	<b>基準年</b> 令和3年													
1.4 <small>(残事業)</small>	42/89億円 事業費：32/79億円 維持管理費：9.7/9.7億円	124/124億円 走行時間短縮便益：95/95億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：8.2/8.2億円														
3.0																
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C=1.2～1.7（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.3～1.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.5（事業期間±20%）																
<b>事業の効果等</b>																
①交通混雑の緩和 ・4車線化に加え、山田・野間の両フルランプ化により、岡垣バイパスへの交通転換が促され、並行する県道区間の交通混雑緩和が期待される。																
②交通安全性の向上 ・岡垣バイパスの4車線化により、対面通行が解消されることで、交通事故の減少が見込まれ、道路利用者の交通安全性の向上が期待される。																
③災害に強い道路ネットワークの構築 ・岡垣バイパスの4車線化により、ボトルネックが解消されるほか、立往生車両発生時でも交通機能が確保されるなど、災害に強い道路ネットワークの構築が期待される。																
④生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO <sub>2</sub> , NO <sub>2</sub> , SPM削減）																
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 岡垣町をはじめとする2市3町で構成される国道3号岡垣バイパス4車線化整備促進期成会（会長：岡垣町長）により早期整備の要望を受けている。（令和3年7月、11月）																
<b>県の意見</b> 一般国道3号は、北九州都市圏と福岡都市圏を結び、北部九州地域の人流・物流を支える重要な幹線道路である。岡垣バイパスの整備は、北部九州地域の発展に大きな弾みをつけ、更には地域全体の経済的な発展に寄与することが期待される。 従って、「対応方針（原案）」のとおり事業を継続すべきと考える。 今後も適切な調査及び事業のコスト縮減に努めていただくとともに、本事業が早期に完了するように事業の推進をお願いしたい。																

<p>事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続。</p>	
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 岡垣町の人口は、概ね横ばいで推移。一世帯あたりの自動車保有台数は福岡県・九州全体を上回っており、自動車交通への依存は高いと考えられる。 交通量は約3万台／日で推移しており、依然として事業の必要性は高い。</p>	
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等 平成30年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率約45%（令和3年3月末時点）</p>	
<p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。</p>	
<p>施設の構造や工法の変更等 トンネル部の地質状況等による補助工法の追加、地質調査結果に伴う擁壁構造の変更、建設発生土の搬出計画の見直し。 新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。</p>	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。
事業概要図	<p>The figure consists of three maps. The top-left map shows the location of Okabe Bypass extension within Kyushu, highlighting the prefectures of Saga, Nagasaki, Fukuoka, and Kumamoto. The top-right map shows the regional context, including major roads like the Kyushu Expressway and the Okabe Bypass extension (延長 4.0 km) connecting the area around Fukuoka to the Beppu area. The bottom map is a detailed view of the project area, showing the extension of the Okabe Bypass (延長 4.0 km) from the existing road near Yamada interchange to the area around Sōjō City. It identifies key features such as the Okabe Tunnel (岡垣トンネル), Yamada Interchange (山田ランプ), and various local roads like the Kyushu Expressway and the Okabe Bypass. A legend in the bottom-left corner defines the symbols for 2-lane roads, 4-lane roads, national roads, main prefectural roads, general prefectural roads, and the project area.</p>

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。